

2021年6月4日
日本原子力発電（株）

敦賀1号機 固体廃棄物移送用キャスクについて

敦賀発電所1号機で使用済制御棒等の事業所内運搬に用いている固体廃棄物移送用キャスク（以下、「固廃キャスク」という。）について整理した結果は以下のとおりである。

【工認設備か否か】

固廃キャスクは、廃棄設備のうち、固体廃棄物貯蔵設備のうち、固体廃棄物移送用キャスクとして工事計画の認可を得ている。本文記載内容は添付-1のとおり。

【性能維持施設か否か】

固廃キャスクは廃止措置計画本文六に記載される性能維持施設とはしておらず、保安規定の「その他自ら定める設備」としている。

なお、固廃キャスクについては、今後使用済制御棒等を処理するにあたって、前準備として使用済燃料池からサイトバンカプールへの移動等に用いる可能性はあるが、使用時期の詳細については未定である。

【点検についての考え方】

固廃キャスクは、平成21年度に固体廃棄物の移送作業に用いて以降、至近の使用予定がないことから定期的な点検は実施していない。

過去に固廃キャスクを使用していた時期においては、外観点検及びリークテスト等の機能検査を実施していた。

なお、使用予定が明確になった時点で点検を実施することを考えている。

【今後について】

今後、固廃キャスクについては、使用する場合には、それまでに性能維持施設として廃止措置計画本文六に追加する方針である。その後は廃止措置計画の記載に基づき定期事業者検査を実施する。

以上

VII 廃棄設備

1. 廃棄物貯蔵設備

○ 固体廃棄物貯蔵設備

固体廃棄物移送用キャスク

(今回新設)

種 類	円筒形
容 量	1.4 m ³
主 要 寸 法	
内 胴 内 径	656 mm
外 胴 外 径	1,100 mm
全 長	5,060 mm
主 要 材 料	
内 胴 板	SUS304
外 胴 板	SM41C
しゃへり材	鉛
個 数	1